

## 情報基礎実習 第 10 回

2016 年 6 月 23 日（木）、6 月 24 日（金）

担当教員：逸村裕、小泉公乃

TA：木曜 松山麻珠 中田周育 前田仁

金曜 鈴木啓史 伊川真以 榎本翔

情報基礎実習最終回となる第 10 回はこれまでのまとめである。第 10 回のレポート課題は 4 つである。それぞれレポートボックスは別であることに注意すること。

### 課題共通事項

- 締め切り
  - 木曜クラス：7 月 11 日（月）15:00
  - 金曜クラス：7 月 12 日（火）15:00
- 課題名
  - 情報基礎実習木曜クラス課題 1, 2, 3, 4
  - 情報基礎実習金曜クラス課題 1, 2, 3, 4
- 注意事項
  - 課題名における課題番号はそれぞれに付与すること
  - これまでのテキストや演習中、返却したレポート内などで指示・指摘された細かいレポート書式（ページ番号の付与や使用フォントなど）は全て遵守せよ。既に周知した書式を満足していなかった場合は減点の対象となる
  - レポート中のあらゆる箇所において手書きは不可とする
  - 提出後におけるいかなるレポートの差し替えも認めない

### 課題 1

これまでの実習では、信頼できる情報源をいかに見つけ出すかを学んできた。今回は信頼できる情報源を作成するコストに着目する。情報源の質を高めるには出版前に何度も確認、校正をする必要があるが、特に査読論文には膨大なコストがかかっている。これまで CiNii Articles などを利用し、フリーアクセス<sup>1</sup>できる論文とそうでない論文をそれぞれ数多く見つけたことと思う。課題 1 ではなぜこのような状況になっているのかについて、関連する論文を引用または参照しつつ論じてもらう。

---

<sup>1</sup> フリーアクセスとは、インターネット上において無料でアクセスできるようにすることをいう。類義語としてオープンアクセス（主として学術論文をインターネット上で無料かつ無条件に利用できるようにするシステムまたはサービス）、パブリックアクセス（学術論文をインターネット上で無料かつ無条件に利用できるようにすること）などがある。

- **内容**

「オープンアクセスの概念とこれまでの動向」について、1) オープンアクセスの定義、2) Gold Open Access、3) Green Open Access、4) 機関リポジトリ の4つのキーワードを用い2,000字以上で論じよ。ただし、倉田敬子（慶應義塾大学）、林和弘（科学技術政策研究所）、三根慎二（三重大学）、佐藤翔（同志社大学）の著作（図書または学術論文）を最低2件以上読み、引用または参照することを条件とする。また、論述の末尾に（n,nnn 文字）という形式で本文の文字数を記載せよ。

- **書式**

Lab2016.docx を適宜書き換えて使用し、1 ページ/枚で A4 片面モノクロ印刷。複数枚になる場合はステイプラー（針無しは不可）で左上1箇所を綴じよ

- **提出先**

春日エリア 7B 棟 2 階 図書館情報エリア支援室学群教務前のレポートボックス

## 課題 2

“プレゼンテーション”の一形態として、1枚のポスターにまとめて発表するポスター発表がある。ポスター発表は少なくとも形式上は自分の話を聞いてくれる普通の口頭発表とは異なり、通りがかった人が興味を持たなければ誰にも話を聞いてもらえない。従って内容の吟味と同等に見せ方を工夫する必要がある。

課題 2 では Microsoft PowerPoint を用いて簡単なポスターと、ポスターを説明する Word 文書の 2 種類を作成する。課題 2 ではレポートボックスへの印刷体の提出に加え、Manaba でファイルを提出することも課す。提出漏れの無いよう十分に注意を払うこと。

- **内容**

p.4 に示す課題に取り組み、印刷体・ファイル（Microsoft PowerPoint）の両方を提出せよ。印刷体はレポートボックスに、ファイルは指定されたメールアドレスに添付して提出せよ。ただし、印刷体は提出したファイルを印刷したものであるとし、印刷体とファイルの内容に差異があった場合は減点の対象とする

- **提出先（印刷体）**

春日エリア 7B 棟 2 階 図書館情報エリア支援室学群教務前のレポートボックス

- **書式（印刷体）**

片面 A4 モノクロ印刷した Word 文書と A4 判に縮小カラー印刷したポスターを、Word 文書が上、ポスターが下になるようステイプラ（針無しは不可）で左上1箇所を綴じたもの

➤ 縦向きの文書と横向きのポスターを合わせて綴じる場合の向きは、授業中での説明に準ずるものとする

- **提出先（Microsoft PowerPoint のファイル）**

- **Manaba における要件・注意事項**

➤ 提出するファイルの名前は半角英数字で **学籍番号下3桁\_提出月日\_性.拡張子** という命名規則に従うこと

- ◇ 学籍番号 201699999 の筑波太郎が 2015 年 7 月 5 日に提出するのであれば、「999\_0701\_Tsukuba.pptx」「999\_0701\_Tsukuba.docx」という 2 つのファイルを作成・送付することになる
- ◇ 締め切り後のレポート提出は認めない
- ◇ 期限内でもレポートの再提出は認めない

## 課題 2 の内容

Microsoft PowerPoint を用いて、筑波大学の大学説明会で掲示することを想定した横使いの A3 ポスター（課題 A）と、ポスターの説明等を記述した Word 文書（課題 B）を作成せよ。ポスターで一度に多くのことを伝えることは困難であるため、何を伝えるべきかをよく考え、多くても数個程度まで絞り込むことが望ましい。

なお、この課題で作成したポスターは Web サイトなどで一括して公開、あるいは本学類の紹介などで使用する可能性がある。また本課題を提出したことで、そのような大学における広報に用いることを許諾したものとす。不都合がある場合は別途申し出ること。

### 【課題 A】

筑波大学の大学説明会（原則として知識情報・図書館学類の大学説明会とする<sup>2</sup>）において「本学開講の演習授業における成果物」として掲示することを想定した、次の条件(1)～(5)を全て満たすポスターを作成せよ。

- (1) ポスターのテーマは次の 2 種のどちらかを選択し、自分なりに主張したものとせよ
  - A) AAA（科目名）は XXX（形容）な科目です
  - B) 知識情報・図書館学類はこんなに YYY（形容）です
- (2) ポスターはサイズを横向きの A3（高さ 297mm、幅 420mm）としたスライド 1 枚で作るものとする。複数枚のスライドを作ることや、合作は認めない
  - PowerPoint 2010 では、[デザイン] タブの [ページ設定] から、「スライドのサイズ設定(S)」を [A3 297×420mm]、「印刷の向き（スライド）」を [横(L)] と設定すればよい
  - なお、A3 サイズで作成したスライドを A4 サイズに縮小印刷するには、印刷の設定を変更することになる
- (3) 図（写真）あるいは図形機能を使って作成したイラストを含めること。写真を使う場合の出典の表示はこれまで課したレポートに準ずるものとする
- (4) 配色や文字の大きさなどにも配慮せよ。あらゆるモニターや印刷体で発色を揃えることは困難だが、どのような媒体でもある程度は読める、さらには見やすいと思うような配色であることが望ましい
- (5) 多くの印刷物が溢れる現在社会において、1 枚のポスターをじっくり見て貰えることはほとんど無いと言っても過言ではない。そのため、ポスターが何を伝えたいのかが一目見てわかるようにすることは大変重要である

---

<sup>2</sup> 知識情報・図書館学類以外に所属する受講生においてはこの限りではない。

## 【課題 B】

Lab2016.docx を用いて、「ポスターで訴えたかったこと」、「情報基礎実習全体に対するコメント」、「ポスター制作にかかった時間」の 3 点を最低限詳述した Word 文書を作成せよ。

## 課題 3

「情報基礎実習第 7 回 p.13 応用課題」

- 提出先

春日エリア 7B 棟 2 階 図書館情報エリア支援室学群教務務前のレポートボックス

## 課題 4

「情報基礎実習第 8 回 p.8 応用課題 4」

- 提出先（印刷体）

春日エリア 7B 棟 2 階 図書館情報エリア支援室学群教務務前のレポートボックス